

令和8年8月 積算基準及び標準歩掛(土木編) 新旧対照表
(一部前倒し改定)

頁	項目	現行(旧)	改定(新)																																																																													
I-14-②-1	第Ⅰ編 総則 第14章 その他 ② 市場単価の1日当り標準作業量	② 市場単価の1日当り標準施工量 本項に記載した日当り作業量は、市場単価への移行にともない削除された工種の標準作業量を定めたものである。設定した作業量は、あくまでも標準施工の場合であるので、当該工種の施工条件、施工法、制約条件等を十分考慮の上適用の可否を検討し、使用するものとする。 1. 鉄筋工 表1. 1 <table><tr><th colspan="2">規格・仕様</th><th>単位</th><th>施工数量</th></tr><tr><td>1</td><td>一般構造物</td><td>t</td><td>3.5</td></tr><tr><td>2</td><td>切梁のある構造物</td><td>t</td><td rowspan="2">3.0</td></tr><tr><td>3</td><td>地下構造物</td><td>t</td></tr><tr><td>4</td><td>橋梁用床版</td><td>t</td><td>4.0</td></tr><tr><td>5</td><td>場所打杭用かご筋</td><td>t</td><td>6.5</td></tr><tr><td>6</td><td>R C場所打ホロースラブ</td><td>t</td><td>2.5</td></tr><tr><td>7</td><td>差筋及び杭頭処理</td><td>t</td><td>3.5</td></tr><tr><td>8</td><td>一般構造物 (太径鉄筋混合)</td><td>t</td><td>5.0</td></tr><tr><td>9</td><td>切梁のある構造物 (太径鉄筋混合)</td><td>t</td><td>4.0</td></tr><tr><td>10</td><td>地下構造物 (太径鉄筋混合)</td><td>t</td><td>4.0</td></tr><tr><td>11</td><td>場所打杭用かご筋 (太径鉄筋混合)</td><td>t</td><td>9.0</td></tr></table> 2. 鉄筋工 (ガス圧接工) 表2. 1 <table><tr><th colspan="2">規格・仕様</th><th>単位</th><th>施工数量</th></tr><tr><td rowspan="9">ガス圧接工 〔 手動 (半自動) 自 動 〕</td><td>D19 + D19</td><td>箇所</td><td rowspan="3">350</td></tr><tr><td>D22 + D22</td><td>箇所</td></tr><tr><td>D25 + D25</td><td>箇所</td></tr><tr><td>D29 + D29</td><td>箇所</td><td>310</td></tr><tr><td>D32 + D32</td><td>箇所</td><td>280</td></tr><tr><td>D35 + D35</td><td>箇所</td><td>240</td></tr><tr><td>D38 + D38</td><td>箇所</td><td>160</td></tr><tr><td>D41 + D41</td><td>箇所</td><td>150</td></tr><tr><td>D51 + D51</td><td>箇所</td><td>130</td></tr></table>	規格・仕様		単位	施工数量	1	一般構造物	t	3.5	2	切梁のある構造物	t	3.0	3	地下構造物	t	4	橋梁用床版	t	4.0	5	場所打杭用かご筋	t	6.5	6	R C場所打ホロースラブ	t	2.5	7	差筋及び杭頭処理	t	3.5	8	一般構造物 (太径鉄筋混合)	t	5.0	9	切梁のある構造物 (太径鉄筋混合)	t	4.0	10	地下構造物 (太径鉄筋混合)	t	4.0	11	場所打杭用かご筋 (太径鉄筋混合)	t	9.0	規格・仕様		単位	施工数量	ガス圧接工 〔 手動 (半自動) 自 動 〕	D19 + D19	箇所	350	D22 + D22	箇所	D25 + D25	箇所	D29 + D29	箇所	310	D32 + D32	箇所	280	D35 + D35	箇所	240	D38 + D38	箇所	160	D41 + D41	箇所	150	D51 + D51	箇所	130	② 市場単価の1日当り標準施工量 本項に記載した日当り作業量は、市場単価への移行にともない削除された工種の標準作業量を定めたものである。設定した作業量は、あくまでも標準施工の場合であるので、当該工種の施工条件、施工法、制約条件等を十分考慮の上適用の可否を検討し、使用するものとする。 削 除
規格・仕様		単位	施工数量																																																																													
1	一般構造物	t	3.5																																																																													
2	切梁のある構造物	t	3.0																																																																													
3	地下構造物	t																																																																														
4	橋梁用床版	t	4.0																																																																													
5	場所打杭用かご筋	t	6.5																																																																													
6	R C場所打ホロースラブ	t	2.5																																																																													
7	差筋及び杭頭処理	t	3.5																																																																													
8	一般構造物 (太径鉄筋混合)	t	5.0																																																																													
9	切梁のある構造物 (太径鉄筋混合)	t	4.0																																																																													
10	地下構造物 (太径鉄筋混合)	t	4.0																																																																													
11	場所打杭用かご筋 (太径鉄筋混合)	t	9.0																																																																													
規格・仕様		単位	施工数量																																																																													
ガス圧接工 〔 手動 (半自動) 自 動 〕	D19 + D19	箇所	350																																																																													
	D22 + D22	箇所																																																																														
	D25 + D25	箇所																																																																														
	D29 + D29	箇所	310																																																																													
	D32 + D32	箇所	280																																																																													
	D35 + D35	箇所	240																																																																													
	D38 + D38	箇所	160																																																																													
	D41 + D41	箇所	150																																																																													
	D51 + D51	箇所	130																																																																													

令和8年8月 積算基準及び標準歩掛(土木編) 新旧対照表
(一部前倒し改定)

頁	項目	現行(旧)	改定(新)				
VI-2-①-1	第Ⅵ編 土木工事標準単価及び市場単価 第2章 市場単価 ① 鉄筋工 ①-1鉄筋工(大径鉄筋含む)	第2章 市 場 単 価 ① 鉄 筋 工 ①－1 鉄筋工(太径鉄筋含む) 1. 適 用 範 囲 本資料は、市場単価方式による鉄筋工に適用する。 1－1 市場単価が適用できる範囲 (1) 河川、海岸、道路、水路、コンクリート橋梁、鋼橋用及びコンクリート橋（PCコンボ橋、PC合成桁橋）用床版（PC床版は除く）等の鉄筋構造物の加工・組立、及び、差筋（削孔等を行うあと施工アンカーは除く）、場所打杭の鉄筋かごの加工・組立。 (2) 鉄筋径は、D10（φ9）以上D51（φ51）以下とする。 1－2 市場単価が適用できない範囲 (1) 積算基準及び標準歩掛等により別途積算するもの。 1) 表1.1に示す工種。 2) ダム本体工事における鉄筋工。 (2) 見積等別途考慮するもの。 1) 表1.2に示す工種。 2) 鉄筋加工、もしくは、鉄筋組立のみ。 3) 離島及び山間僻地等で、明らかに単価が異なると判断される地域の場合。 4) 25t吊以下のトラッククレーン及びラフテレーンクレーン以外のクレーンを使用する場合。 5) その他、規格・仕様等が適合せず、市場単価が適用できない場合。 <table><caption>表1.1 積算基準及び標準歩掛等により別途積算するもの</caption><tr><td>コンクリートブロック積（張）の連結ブロック等の連結用鉄筋工 コンクリート舗装工 道路維持修繕の橋梁地覆補修工 ポストテンション桁製作 PC橋梁設工 ポストテンション場所打ホロースラブ橋 ポストテンション場所打箱桁橋 伸縮装置工 沓座拡張工</td><td>積算基準及び標準歩掛による</td></tr></table><table><caption>表1.2 見積によるもの</caption><tr><td>コンクリート山止め壁工の場所打連続壁工 その他（特に加工・組立が困難な構造物）</td><td>見積等 別途考慮</td></tr></table>	コンクリートブロック積（張）の連結ブロック等の連結用鉄筋工 コンクリート舗装工 道路維持修繕の橋梁地覆補修工 ポストテンション桁製作 PC橋梁設工 ポストテンション場所打ホロースラブ橋 ポストテンション場所打箱桁橋 伸縮装置工 沓座拡張工	積算基準及び標準歩掛による	コンクリート山止め壁工の場所打連続壁工 その他（特に加工・組立が困難な構造物）	見積等 別途考慮	削 除
コンクリートブロック積（張）の連結ブロック等の連結用鉄筋工 コンクリート舗装工 道路維持修繕の橋梁地覆補修工 ポストテンション桁製作 PC橋梁設工 ポストテンション場所打ホロースラブ橋 ポストテンション場所打箱桁橋 伸縮装置工 沓座拡張工	積算基準及び標準歩掛による						
コンクリート山止め壁工の場所打連続壁工 その他（特に加工・組立が困難な構造物）	見積等 別途考慮						
		VI-2-①-1					

令和8年8月 積算基準及び標準歩掛(土木編) 新旧対照表
(一部前倒し改定)

頁	項目	現行(旧)	改定(新)																																			
VI-2-①-2	第Ⅵ編 土木工事標準単価及び市場単価 第2章 市場単価 ① 鉄筋工 ①-1鉄筋工(大径鉄筋含む)	2. 市場単価の設定 2-1 市場単価の構成と範囲 市場単価で対応しているのは、機・労・材の○及びフロー図の実線の部分である。 <table><tr><th rowspan="2">工 種</th><th colspan="3">市場単価</th></tr><tr><th>機</th><th>労</th><th>材</th></tr><tr><td>鉄筋工</td><td>○</td><td>○</td><td>×※</td></tr></table> 荷 卸 し → 小 運 搬 → 加 工 → 小 運 搬 → 組 立 施工歩掛コードWB810010 (注)1. 単価は材料費を含まない。ただし、結束線、スベーサなどの副資材を含む。場所打杭用かご筋は、補強材及びスベーサーに異形棒鋼または丸鋼以外を使用する場合、補強材及びスベーサーの材料費を含まない。また、25 t 吊以下のトラッククレーン及びラフテレーンクレーンを必要とする場合の賃料を含む。 2. ガス圧接費、及び機械継手費を含まない。 3. 単価は場所打杭用かご筋の場合、固定金具の設置手間は含むが、材料費は含まない。また、補強材及びスベーサーの計上区分は次表による。 <table><tr><th colspan="3">表2. 1 場所打杭用かご筋の計上区分</th></tr><tr><th>区分</th><th>異形棒鋼または丸鋼を使用</th><th>左記以外を使用</th></tr><tr><td>補強材(補強リング)</td><td>鉄筋材料費に含む※</td><td>材料費・加工費を別途計上</td></tr><tr><td>スベーサ</td><td>鉄筋材料費に含む※</td><td>材料費を別途計上</td></tr></table> 4. ※については、施工歩掛コード(WB810010)により考慮されるため、(注)1. で「単価は材料費を含まない」としているが、別途計上する必要はない。 2-2 市場単価の規格・仕様 鉄筋工の市場単価の規格・仕様区分は、下表のとおりである。 <table><tr><th colspan="3">表2. 2 規格・仕様区分</th></tr><tr><th>規 格 ・ 仕 様</th><th>適 用 基 準</th><th>単 位</th></tr><tr><td>一般構造物</td><td>構造物の鉄筋の加工・組立</td><td>t</td></tr><tr><td>場所打杭用かご筋</td><td>場所打杭用鉄筋かごの加工・組立</td><td>t</td></tr></table> (注) 1. クレーン使用を標準とする。 2. 規格・仕様区分における「場所打杭用かご筋」は、かご筋をあらかじめ掘削坑内以外において組立てる場合に適用し、掘削坑内でかご状に組立てる場合については「一般構造物」を適用する。 3. 場所打杭用かご筋は、固定金具、補強材及びスベーサの重量は含めない。ただし、補強材及びスベーサーに異形棒鋼または丸鋼を使用する場合は、補強材及びスベーサの重量を加算する。	工 種	市場単価			機	労	材	鉄筋工	○	○	×※	表2. 1 場所打杭用かご筋の計上区分			区分	異形棒鋼または丸鋼を使用	左記以外を使用	補強材(補強リング)	鉄筋材料費に含む※	材料費・加工費を別途計上	スベーサ	鉄筋材料費に含む※	材料費を別途計上	表2. 2 規格・仕様区分			規 格 ・ 仕 様	適 用 基 準	単 位	一般構造物	構造物の鉄筋の加工・組立	t	場所打杭用かご筋	場所打杭用鉄筋かごの加工・組立	t	削 除
工 種	市場単価																																					
	機	労	材																																			
鉄筋工	○	○	×※																																			
表2. 1 場所打杭用かご筋の計上区分																																						
区分	異形棒鋼または丸鋼を使用	左記以外を使用																																				
補強材(補強リング)	鉄筋材料費に含む※	材料費・加工費を別途計上																																				
スベーサ	鉄筋材料費に含む※	材料費を別途計上																																				
表2. 2 規格・仕様区分																																						
規 格 ・ 仕 様	適 用 基 準	単 位																																				
一般構造物	構造物の鉄筋の加工・組立	t																																				
場所打杭用かご筋	場所打杭用鉄筋かごの加工・組立	t																																				

令和8年8月 積算基準及び標準歩掛(土木編) 新旧対照表
(一部前倒し改定)

頁	項目	現行(旧)	改定(新)
VI-2-①-3	第VI編 土木工事標準単価及び市場単価 第2章 市場単価 ① 鉄筋工 ①-1鉄筋工(大径鉄筋含む)	VI-2-①-3	削除

令和8年8月 積算基準及び標準歩掛(土木編) 新旧対照表
(一部前倒し改定)

頁	項目	現行(旧)	改定(新)																																																														
VI-2-①-4	第Ⅵ編 土木工事標準単価及び市場単価 第2章 市場単価 ① 鉄筋工 ①-1鉄筋工(大径鉄筋含む)	2-3 加算率、補正係数 (1) 加算率・補正係数の適用基準 表2.3 加算率・補正係数の適用基準 <table><tr><th colspan="2">規格・仕様</th><th>適用基準</th><th>記号</th><th>備考</th></tr><tr><td>加</td><td rowspan="2">施 工 規 模</td><td>標準</td><td>S₀</td><td>全体数量</td></tr><tr><td>算</td><td>1工事の施工規模が標準より小さい場合(10t未満)は、対象となる規格・仕様の単価を率で加算する。 複数の規格・仕様区分を含む工事の施工規模の判定は、1工事における全規格・仕様の全体数量で判定する。</td><td>S₁</td><td>全体数量</td></tr></table> 1) 補正係数1（必要条件を選択） <table><tr><td rowspan="7">補正係数1</td><td>時間的制約を受ける場合</td><td>通常勤務すべき1日の作業時間(所定労働時間)を7時間以下4時間以上に制限する場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。</td><td>K₁</td><td>対象数量</td></tr><tr><td>夜間作業</td><td>通常勤務すべき時間(所定労働時間)帯を変更して、作業時間が夜間(20時～6時)にかかる場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。</td><td>K₂</td><td>対象数量</td></tr><tr><td>トンネル内作業</td><td>トンネル内の鉄筋組立作業を伴う場合、単価を係数で補正する。</td><td>K₃</td><td>対象数量</td></tr><tr><td>法面作業</td><td>勾配が1:1.5より急勾配の場合、単価を係数で補正する。</td><td>K₄</td><td>対象数量</td></tr><tr><td rowspan="3">太 径 鉄 筋</td><td>1 単位当り構造物のうち、太径鉄筋の割合が 10%以上 20%未満の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。</td><td>K₅</td><td>対象構造物別数量</td></tr><tr><td>1 単位当り構造物のうち、太径鉄筋の割合が 20%以上 40%未満の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。</td><td>K₆</td><td>対象構造物別数量</td></tr><tr><td>1 単位当り構造物のうち、太径鉄筋の割合が 40%以上の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。</td><td>K₇</td><td>対象構造物別数量</td></tr></table> 2) 補正係数2（1項目を選択） <table><tr><td rowspan="5">補正係数2</td><td>切梁のある構造物</td><td>切梁のある構造物、立坑、及び、深礎工（掘削坑内組立）の場合、単価を係数で補正する。（11₁）＜（11₂）×2</td><td>T₁</td><td>対象数量</td></tr><tr><td>地下構造物</td><td>地表面下、覆工板等に覆われて施工する構造物の場合、単価を係数で補正する。</td><td>T₂</td><td>対象数量</td></tr><tr><td>橋梁用床版</td><td>鋼橋用及びコンクリート橋（PCコンボ橋、PC合成桁橋）用床版（PC床版は除く）の場合、単価を係数で補正する。</td><td>T₃</td><td>対象数量</td></tr><tr><td>RC場所打ホロースラブ橋</td><td>RC場所打ホロースラブ橋の場合、単価を係数で補正する。</td><td>T₄</td><td>対象数量</td></tr><tr><td>差筋及び杭頭処理</td><td>差筋もしくは杭頭処理の場合、単価を係数で補正する。</td><td>T₅</td><td>対象数量</td></tr></table> (注) 1. 太径鉄筋（D38 以上D51 以下）の割合が 10%以上の場合は、係数で補正する。ただし、太径鉄筋の割合が 10%未満の場合は、係数の補正は行わない。 2. 太径鉄筋の補正係数は、一単位当り構造物の単価を係数で補正する。 3. 太径鉄筋の割合は、以下の方法で計算する。 太径鉄筋の割合＝$\frac{1 \text{ 単位当り構造物の設計太径鉄筋質量}}{1 \text{ 単位当り構造物の設計鉄筋質量}}$ ※ 1 単位当り構造物の参考例：① 1 工事で複数の橋脚を施工する場合、橋脚 1 基毎の太径鉄筋割合により太径鉄筋補正を行う。 ② 1 工事で複数の場所打杭用かご筋を施工する場合、杭 1 本毎の太径鉄筋割合により太径鉄筋補正を行う。	規格・仕様		適用基準	記号	備考	加	施 工 規 模	標準	S ₀	全体数量	算	1工事の施工規模が標準より小さい場合(10t未満)は、対象となる規格・仕様の単価を率で加算する。 複数の規格・仕様区分を含む工事の施工規模の判定は、1工事における全規格・仕様の全体数量で判定する。	S ₁	全体数量	補正係数1	時間的制約を受ける場合	通常勤務すべき1日の作業時間(所定労働時間)を7時間以下4時間以上に制限する場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₁	対象数量	夜間作業	通常勤務すべき時間(所定労働時間)帯を変更して、作業時間が夜間(20時～6時)にかかる場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₂	対象数量	トンネル内作業	トンネル内の鉄筋組立作業を伴う場合、単価を係数で補正する。	K ₃	対象数量	法面作業	勾配が1:1.5より急勾配の場合、単価を係数で補正する。	K ₄	対象数量	太 径 鉄 筋	1 単位当り構造物のうち、太径鉄筋の割合が 10%以上 20%未満の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₅	対象構造物別数量	1 単位当り構造物のうち、太径鉄筋の割合が 20%以上 40%未満の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₆	対象構造物別数量	1 単位当り構造物のうち、太径鉄筋の割合が 40%以上の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₇	対象構造物別数量	補正係数2	切梁のある構造物	切梁のある構造物、立坑、及び、深礎工（掘削坑内組立）の場合、単価を係数で補正する。（11 ₁ ）＜（11 ₂ ）×2	T ₁	対象数量	地下構造物	地表面下、覆工板等に覆われて施工する構造物の場合、単価を係数で補正する。	T ₂	対象数量	橋梁用床版	鋼橋用及びコンクリート橋（PCコンボ橋、PC合成桁橋）用床版（PC床版は除く）の場合、単価を係数で補正する。	T ₃	対象数量	RC場所打ホロースラブ橋	RC場所打ホロースラブ橋の場合、単価を係数で補正する。	T ₄	対象数量	差筋及び杭頭処理	差筋もしくは杭頭処理の場合、単価を係数で補正する。	T ₅	対象数量	削除
規格・仕様		適用基準	記号	備考																																																													
加	施 工 規 模	標準	S ₀	全体数量																																																													
算		1工事の施工規模が標準より小さい場合(10t未満)は、対象となる規格・仕様の単価を率で加算する。 複数の規格・仕様区分を含む工事の施工規模の判定は、1工事における全規格・仕様の全体数量で判定する。	S ₁	全体数量																																																													
補正係数1	時間的制約を受ける場合	通常勤務すべき1日の作業時間(所定労働時間)を7時間以下4時間以上に制限する場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₁	対象数量																																																													
	夜間作業	通常勤務すべき時間(所定労働時間)帯を変更して、作業時間が夜間(20時～6時)にかかる場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₂	対象数量																																																													
	トンネル内作業	トンネル内の鉄筋組立作業を伴う場合、単価を係数で補正する。	K ₃	対象数量																																																													
	法面作業	勾配が1:1.5より急勾配の場合、単価を係数で補正する。	K ₄	対象数量																																																													
	太 径 鉄 筋	1 単位当り構造物のうち、太径鉄筋の割合が 10%以上 20%未満の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₅	対象構造物別数量																																																													
		1 単位当り構造物のうち、太径鉄筋の割合が 20%以上 40%未満の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₆	対象構造物別数量																																																													
		1 単位当り構造物のうち、太径鉄筋の割合が 40%以上の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₇	対象構造物別数量																																																													
補正係数2	切梁のある構造物	切梁のある構造物、立坑、及び、深礎工（掘削坑内組立）の場合、単価を係数で補正する。（11 ₁ ）＜（11 ₂ ）×2	T ₁	対象数量																																																													
	地下構造物	地表面下、覆工板等に覆われて施工する構造物の場合、単価を係数で補正する。	T ₂	対象数量																																																													
	橋梁用床版	鋼橋用及びコンクリート橋（PCコンボ橋、PC合成桁橋）用床版（PC床版は除く）の場合、単価を係数で補正する。	T ₃	対象数量																																																													
	RC場所打ホロースラブ橋	RC場所打ホロースラブ橋の場合、単価を係数で補正する。	T ₄	対象数量																																																													
	差筋及び杭頭処理	差筋もしくは杭頭処理の場合、単価を係数で補正する。	T ₅	対象数量																																																													

VI-2-①-4

令和8年8月 積算基準及び標準歩掛(土木編) 新旧対照表
(一部前倒し改定)

頁	項目	現行(旧)	改定(新)																																																									
VI-2-①-5	第Ⅵ編 土木工事標準単価及び市場単価 第2章 市場単価 ① 鉄筋工 ①-1鉄筋工(大径鉄筋含む)	(2) 加算率・補正係数の数値 <table><caption>表2. 4 加算率の数値</caption><tr><th>区 分</th><th>記号</th><th colspan="2">1 工 事 当 り の 全 体 数 量</th></tr><tr><td rowspan="2">加算率</td><td>施工規模 S₀</td><td>10 t 以上</td><td>0%</td></tr><tr><td>施工規模 S₁</td><td>10 t 未満</td><td>15%</td></tr></table> <table><caption>表2. 5 補正係数の数値</caption><tr><td colspan="2">1) 補正係数1 (必要条件を選択)</td><td>区 分</td><td>記 号</td><td>一般構造物, 場所打杭用かご筋</td></tr><tr><td rowspan="7">補正係数1</td><td rowspan="5"></td><td>時間 的 制 約 を 受 け る 場 合</td><td>K₁</td><td>1. 10</td></tr><tr><td>夜 間 作 業</td><td>K₂</td><td>1. 25</td></tr><tr><td>ト ン ネ ル 内 作 業</td><td>K₃</td><td>1. 10</td></tr><tr><td>法 面 作 業</td><td>K₄</td><td>1. 15</td></tr><tr><td rowspan="3">太 径 鉄 筋</td><td>K₅</td><td>0. 9</td></tr><tr><td>K₆</td><td>0. 8</td></tr><tr><td>K₇</td><td>0. 7</td></tr></table> (注) 1. 施工規模加算率 (S₀) と時間的制約を受ける場合の補正係数 (K_i) が重複する場合は, 施工規模加算率のみを対象とする。 2. 規格・仕様区分において場所打杭用かご筋を適用する場合は, トンネル内作業の補正, 法面作業の補正を行わない。 3. トンネル内作業は, 時間的制約を受ける場合の補正, 夜間作業の補正を行わない。 2) 補正係数2 (1項目を選択) <table><tr><td rowspan="6">補正係数2</td><td colspan="2">区 分</td><td>記 号</td><td>一般構造物</td></tr><tr><td>切 梁 の あ る 構 造 物</td><td>T₁</td><td>1. 00</td></tr><tr><td>地 下 構 造 物</td><td>T₂</td><td>1. 10</td></tr><tr><td>橋 梁 用 床 版</td><td>T₃</td><td>0. 85</td></tr><tr><td>R C 場 所 打 ホ ロ ー ス ラ ブ 橋</td><td>T₄</td><td>1. 15</td></tr><tr><td>差 筋 及 び 杭 頭 処 理</td><td>T₅</td><td>0. 95</td></tr></table> (注) 1. 項目の選択は, 3. 適用にあたっての留意事項 (10) フロー図による。 2. K₃, K₄ を適用する場合, 補正係数2は適用しない。 3. K₅, K₆, K₇ を適用する場合は, T₃, T₄ は適用しない。 2-4 直接工事費の算出 直接工事費＝設計単価 (注1) ×設計数量+材料費 (注2) (注1) 設計単価＝標準の市場単価× (1 + S₀ or S₁ / 100) × (K₁ × K₂ ×……× K₇) × (T₁ or T₂ or …… or T₅) ※ T₁ ～ T₅ は1項目を選択 (注2) 材料費の計上は次による。 材料費＝設計質量× 1.03 (ロス分) ×鉄筋材料単価 3. 適用にあたっての留意事項 市場単価の適用にあたっては, 以下の点に留意すること。 (1) 普通鉄筋・異形鉄筋とも同一条件とし, 市場単価の区分はしない。 (2) 鉄筋強度, 長さは問わない。 (3) 鉄筋工の継手は, 重ね継手を標準とし, 機械継手の場合は, 機械継手の材料費・設置手間を別途計上する。 また, ガス圧接の場合は, 積算基準及び標準歩掛第Ⅵ編第2章①-2鉄筋工 (ガス圧接工) によるものとする。 (4) フック鉄筋以外の定着工法用の鉄筋加工費, 鉄筋のねじ切り加工費は別途計上する。 (5) フレアー溶接を行う場合は, フレアー溶接費用を別途計上する。 VI-2-①-5	区 分	記号	1 工 事 当 り の 全 体 数 量		加算率	施工規模 S ₀	10 t 以上	0%	施工規模 S ₁	10 t 未満	15%	1) 補正係数1 (必要条件を選択)		区 分	記 号	一般構造物, 場所打杭用かご筋	補正係数1		時間 的 制 約 を 受 け る 場 合	K ₁	1. 10	夜 間 作 業	K ₂	1. 25	ト ン ネ ル 内 作 業	K ₃	1. 10	法 面 作 業	K ₄	1. 15	太 径 鉄 筋	K ₅	0. 9	K ₆	0. 8	K ₇	0. 7	補正係数2	区 分		記 号	一般構造物	切 梁 の あ る 構 造 物	T ₁	1. 00	地 下 構 造 物	T ₂	1. 10	橋 梁 用 床 版	T ₃	0. 85	R C 場 所 打 ホ ロ ー ス ラ ブ 橋	T ₄	1. 15	差 筋 及 び 杭 頭 処 理	T ₅	0. 95	削 除
区 分	記号	1 工 事 当 り の 全 体 数 量																																																										
加算率	施工規模 S ₀	10 t 以上	0%																																																									
	施工規模 S ₁	10 t 未満	15%																																																									
1) 補正係数1 (必要条件を選択)		区 分	記 号	一般構造物, 場所打杭用かご筋																																																								
補正係数1		時間 的 制 約 を 受 け る 場 合	K ₁	1. 10																																																								
		夜 間 作 業	K ₂	1. 25																																																								
		ト ン ネ ル 内 作 業	K ₃	1. 10																																																								
		法 面 作 業	K ₄	1. 15																																																								
		太 径 鉄 筋	K ₅	0. 9																																																								
	K ₆		0. 8																																																									
	K ₇		0. 7																																																									
補正係数2	区 分		記 号	一般構造物																																																								
	切 梁 の あ る 構 造 物	T ₁	1. 00																																																									
	地 下 構 造 物	T ₂	1. 10																																																									
	橋 梁 用 床 版	T ₃	0. 85																																																									
	R C 場 所 打 ホ ロ ー ス ラ ブ 橋	T ₄	1. 15																																																									
	差 筋 及 び 杭 頭 処 理	T ₅	0. 95																																																									

令和8年8月 積算基準及び標準歩掛(土木編) 新旧対照表
(一部前倒し改定)

頁	項目	現行(旧)	改定(新)
VI-2-①-6	第VI編 土木工事標準単価及び市場単価 第2章 市場単価 ① 鉄筋工 ①-1鉄筋工(大径鉄筋含む)	(6) 場所打杭用かご筋は、固定金具の設置手間は含むが、材料費は含まない。また、補強材及びスペーサは表2.1の計上区分による。 (7) 架台を必要とする場合は、架台の製作・組立費用を別途計上する。 (8) 組立鋼材(形鋼)を必要とする場合は、組立鋼材(形鋼)の材料費・設置手間(クレーン等による組立鋼材(形鋼)設置、組立鋼材(形鋼)とライナープレートなどの接合費用等)を別途計上(見積等)する。 (9) 一工事中に複数の補正係数2(タイプ)に該当する場合は、それぞれの「補正係数2」毎の単価を適用する。ただし、施工規模加算率の判定は一工事全体の合計数量で判定する。 (10) 規格・仕様区分及び補正係数2の適用は次に示すフローによる。 (11) 使用クレーンの規格は、25t吊り以下のトラッククレーン及びラフテレーンクレーンとする。なお、使用クレーンの規格や仕様が異なる場合は別途考慮する。 (12) 随意契約による調整を行う追加工事の取扱いは、現工事の施工規模を考慮せず、単独工事として数量を判定する。 (13) エポキシ塗装鉄筋の場合も、適用できる。 VI-2-①-6	削除

令和8年8月 積算基準及び標準歩掛(土木編) 新旧対照表
(一部前倒し改定)

頁	項目	現行(旧)	改定(新)																																								
VI-2-①-7	第Ⅵ編 土木工事標準単価及び市場単価 第2章 市場単価 ① 鉄筋工 ①-2鉄筋工(ガス圧接工)	①-2 鉄筋工(ガス圧接工) 1. 適用範囲 本資料は、市場単価方式による、ガス圧接工に適用する。 1-1 市場単価が適用できる範囲 1) 鉄筋構造物の組立作業における手動式（半自動式）、自動式のガス圧接工。 1-2 市場単価が適用できない範囲 (1) 見積等別途考慮するもの 1) 熱間押抜法によるガス圧接工。 2) 離島及び山間僻地等で、明らかに単価が異なると判断される地域の場合。 3) その他、規格・仕様等が適合せず、市場単価を適用できない場合。 2. 市場単価の設定 2-1 市場単価の構成と範囲 市場単価で対応しているのは、機・労・材の○及びフロー図の実線部分である。 <table><tr><td>工 種</td><td colspan="3">市場単価</td><td rowspan="2">圧 接 作 業</td></tr><tr><td></td><td>機</td><td>労</td><td>材</td></tr><tr><td>ガス圧接工</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td></tr></table> (注) 1. 単価には、酸素、アセチレン等の材料を含む。 2. 圧接前の配筋及び圧接後の鉄筋の切断費用、試験費用は含まない。 2-2 市場単価の規格・仕様 ガス圧接工の市場単価に適用する規格・仕様は以下のとおりとする。 <table><tr><th colspan="3">表2. 1 規格・仕様</th></tr><tr><th>規 格 ・ 仕 様</th><th colspan="2">単 位</th></tr><tr><td rowspan="8">ガス圧接工 〔 手動(半自動) 自 動 〕</td><td>D19+D19</td><td>箇所</td></tr><tr><td>D22+D22</td><td>箇所</td></tr><tr><td>D25+D25</td><td>箇所</td></tr><tr><td>D29+D29</td><td>箇所</td></tr><tr><td>D32+D32</td><td>箇所</td></tr><tr><td>D35+D35</td><td>箇所</td></tr><tr><td>D38+D38</td><td>箇所</td></tr><tr><td>D41+D41</td><td>箇所</td></tr><tr><td></td><td>D51+D51</td><td>箇所</td></tr></table> (注) 1. 径違いの圧接の場合は、上位規格の規格・仕様を適用する。 2. 手動（半自動）、自動の区分は問わない。 施工歩掛コード WBS10110	工 種	市場単価			圧 接 作 業		機	労	材	ガス圧接工	○	○	○		表2. 1 規格・仕様			規 格 ・ 仕 様	単 位		ガス圧接工 〔 手動(半自動) 自 動 〕	D19+D19	箇所	D22+D22	箇所	D25+D25	箇所	D29+D29	箇所	D32+D32	箇所	D35+D35	箇所	D38+D38	箇所	D41+D41	箇所		D51+D51	箇所	削 除
工 種	市場単価			圧 接 作 業																																							
	機	労	材																																								
ガス圧接工	○	○	○																																								
表2. 1 規格・仕様																																											
規 格 ・ 仕 様	単 位																																										
ガス圧接工 〔 手動(半自動) 自 動 〕	D19+D19	箇所																																									
	D22+D22	箇所																																									
	D25+D25	箇所																																									
	D29+D29	箇所																																									
	D32+D32	箇所																																									
	D35+D35	箇所																																									
	D38+D38	箇所																																									
	D41+D41	箇所																																									
	D51+D51	箇所																																									

VI-2-①-7

令和8年8月 積算基準及び標準歩掛(土木編) 新旧対照表
(一部前倒し改定)

頁	項目	現行(旧)	改定(新)																															
VI-2-①-8	第Ⅵ編 土木工事標準単価及び市場単価 第2章 市場単価 ① 鉄筋工 ①-2鉄筋工(ガス圧接工)	2-3 加算率・補正係数 (1) 加算率・補正係数の適用基準 <table><caption>表2.2 加算率・補正係数の適用基準</caption><tr><th>規格・仕様</th><th>適用基準</th><th>記号</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="2">加算率</td><td>標準</td><td>S₀</td><td>全体数量</td></tr><tr><td>1工事の施工規模が、100箇所未満の場合は、対象となる規格・仕様の単価を率で加算する。複数の規格・仕様を含む工事の施工規模の判定は、1工事における全規格・全仕様の全体数量で判定する。</td><td>S₁</td><td>全体数量</td></tr><tr><td rowspan="2">補正係数</td><td>時間的制約を受ける場合</td><td>K₁</td><td>対象数量</td></tr><tr><td>夜間作業</td><td>K₂</td><td>対象数量</td></tr></table> (2) 加算率・補正係数の数値 <table><caption>表2.3 加算率・補正係数の数値</caption><tr><th>規格・仕様</th><th>記号</th><th>ガス圧接工</th></tr><tr><td rowspan="3">加算率</td><td rowspan="2">S₀</td><td>100箇所以上 0%</td></tr><tr><td>S₁</td><td>100箇所未満 15%</td></tr><tr><td rowspan="2">補正係数</td><td>K₁</td><td>1.15</td></tr><tr><td>K₂</td><td>1.45</td></tr></table> (注) 施工規模加算率 (S₁) と時間的制約を受ける場合の補正 (K₁) が重複する場合は、施工規模加算率のみを対象とする。 2-4 直接工事費の算出 直接工事費＝設計単価 (注) ×設計数量 (注) 設計単価＝標準の市場単価× (1+ S₀ or S₁／100) × (K₁×K₂) 3. 適用にあたっての留意事項 市場単価の適用にあたっては、以下の点に留意すること。 (1) 普通鉄筋、異形鉄筋の区分はしない。 (2) 圧接作業に必要な施工器具 (ホース、ポンプ、バーナー等)、圧接面の清掃費用を含む。 (3) 随意契約により調整をおこなう追加工事の取り扱い、現工事の施工規模を考慮せず、単独工事として数量を判定するものとする。	規格・仕様	適用基準	記号	備考	加算率	標準	S ₀	全体数量	1工事の施工規模が、100箇所未満の場合は、対象となる規格・仕様の単価を率で加算する。複数の規格・仕様を含む工事の施工規模の判定は、1工事における全規格・全仕様の全体数量で判定する。	S ₁	全体数量	補正係数	時間的制約を受ける場合	K ₁	対象数量	夜間作業	K ₂	対象数量	規格・仕様	記号	ガス圧接工	加算率	S ₀	100箇所以上 0%	S ₁	100箇所未満 15%	補正係数	K ₁	1.15	K ₂	1.45	削除
規格・仕様	適用基準	記号	備考																															
加算率	標準	S ₀	全体数量																															
	1工事の施工規模が、100箇所未満の場合は、対象となる規格・仕様の単価を率で加算する。複数の規格・仕様を含む工事の施工規模の判定は、1工事における全規格・全仕様の全体数量で判定する。	S ₁	全体数量																															
補正係数	時間的制約を受ける場合	K ₁	対象数量																															
	夜間作業	K ₂	対象数量																															
規格・仕様	記号	ガス圧接工																																
加算率	S ₀	100箇所以上 0%																																
		S ₁	100箇所未満 15%																															
	補正係数	K ₁	1.15																															
K ₂		1.45																																

VI-2-①-8

令和8年8月 積算基準及び標準歩掛(土木編) 新旧対照表
(一部前倒し改定)

頁	項目	現行(旧)	改定(新)																																																																																											
新規	第Ⅰ編 総則 第14章 その他 ④ 作業日当り標準作業量	新 規	<table><tr><td rowspan="14">鉄筋工</td><td>①加工・組立</td></tr><tr><td><table><tr><th rowspan="2">鉄筋径 (mm)</th><th colspan="4">作業日当り標準作業量</th></tr><tr><th>一般構造物/ トンネル内構造物</th><th>橋梁用床版</th><th>場所打ち杭の 鉄筋かご</th><th>差筋および 杭頭処理</th></tr><tr><td>10～13</td><td>0.8t/日</td><td>0.9t/日</td><td>1.0t/日</td><td>0.9t/日</td></tr><tr><td>16～25</td><td>1.2t/日</td><td>1.3t/日</td><td>1.7t/日</td><td>1.2t/日</td></tr><tr><td>29～32</td><td>1.7t/日</td><td>－</td><td>2.2t/日</td><td>1.8t/日</td></tr><tr><td>35</td><td>1.8t/日</td><td>－</td><td>2.8t/日</td><td>1.9t/日</td></tr><tr><td>38</td><td>1.9t/日</td><td>－</td><td>－</td><td>2.1t/日</td></tr><tr><td>41</td><td>2.0t/日</td><td>－</td><td>－</td><td>2.2t/日</td></tr><tr><td>51</td><td>2.4t/日</td><td>－</td><td>－</td><td>2.6t/日</td></tr></table></td></tr><tr><td>②ガス圧接継手</td></tr><tr><td><table><tr><th>鉄筋径 (mm)</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr><tr><td>16～25</td><td>132箇所/日</td></tr><tr><td>29～32</td><td>86箇所/日</td></tr><tr><td>35</td><td>75箇所/日</td></tr><tr><td>38</td><td>69箇所/日</td></tr><tr><td>41</td><td>64箇所/日</td></tr><tr><td>51</td><td>51箇所/日</td></tr></table></td></tr><tr><td>③機械式継手</td></tr><tr><td><table><tr><th rowspan="2">鉄筋径 (mm)</th><th colspan="2">作業日当り標準作業量</th></tr><tr><th>グラウト</th><th>ねじ加工</th></tr><tr><td>13</td><td>119箇所/日</td><td>246箇所/日</td></tr><tr><td>16～25</td><td>103箇所/日</td><td>186箇所/日</td></tr><tr><td>29～32</td><td>90箇所/日</td><td>156箇所/日</td></tr><tr><td>35</td><td>87箇所/日</td><td>147箇所/日</td></tr><tr><td>38</td><td>85箇所/日</td><td>134箇所/日</td></tr><tr><td>41</td><td>82箇所/日</td><td>134箇所/日</td></tr><tr><td>51</td><td>78箇所/日</td><td>123箇所/日</td></tr></table></td></tr></table>	鉄筋工	①加工・組立	<table><tr><th rowspan="2">鉄筋径 (mm)</th><th colspan="4">作業日当り標準作業量</th></tr><tr><th>一般構造物/ トンネル内構造物</th><th>橋梁用床版</th><th>場所打ち杭の 鉄筋かご</th><th>差筋および 杭頭処理</th></tr><tr><td>10～13</td><td>0.8t/日</td><td>0.9t/日</td><td>1.0t/日</td><td>0.9t/日</td></tr><tr><td>16～25</td><td>1.2t/日</td><td>1.3t/日</td><td>1.7t/日</td><td>1.2t/日</td></tr><tr><td>29～32</td><td>1.7t/日</td><td>－</td><td>2.2t/日</td><td>1.8t/日</td></tr><tr><td>35</td><td>1.8t/日</td><td>－</td><td>2.8t/日</td><td>1.9t/日</td></tr><tr><td>38</td><td>1.9t/日</td><td>－</td><td>－</td><td>2.1t/日</td></tr><tr><td>41</td><td>2.0t/日</td><td>－</td><td>－</td><td>2.2t/日</td></tr><tr><td>51</td><td>2.4t/日</td><td>－</td><td>－</td><td>2.6t/日</td></tr></table>	鉄筋径 (mm)	作業日当り標準作業量				一般構造物/ トンネル内構造物	橋梁用床版	場所打ち杭の 鉄筋かご	差筋および 杭頭処理	10～13	0.8t/日	0.9t/日	1.0t/日	0.9t/日	16～25	1.2t/日	1.3t/日	1.7t/日	1.2t/日	29～32	1.7t/日	－	2.2t/日	1.8t/日	35	1.8t/日	－	2.8t/日	1.9t/日	38	1.9t/日	－	－	2.1t/日	41	2.0t/日	－	－	2.2t/日	51	2.4t/日	－	－	2.6t/日	②ガス圧接継手	<table><tr><th>鉄筋径 (mm)</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr><tr><td>16～25</td><td>132箇所/日</td></tr><tr><td>29～32</td><td>86箇所/日</td></tr><tr><td>35</td><td>75箇所/日</td></tr><tr><td>38</td><td>69箇所/日</td></tr><tr><td>41</td><td>64箇所/日</td></tr><tr><td>51</td><td>51箇所/日</td></tr></table>	鉄筋径 (mm)	作業日当り標準作業量	16～25	132箇所/日	29～32	86箇所/日	35	75箇所/日	38	69箇所/日	41	64箇所/日	51	51箇所/日	③機械式継手	<table><tr><th rowspan="2">鉄筋径 (mm)</th><th colspan="2">作業日当り標準作業量</th></tr><tr><th>グラウト</th><th>ねじ加工</th></tr><tr><td>13</td><td>119箇所/日</td><td>246箇所/日</td></tr><tr><td>16～25</td><td>103箇所/日</td><td>186箇所/日</td></tr><tr><td>29～32</td><td>90箇所/日</td><td>156箇所/日</td></tr><tr><td>35</td><td>87箇所/日</td><td>147箇所/日</td></tr><tr><td>38</td><td>85箇所/日</td><td>134箇所/日</td></tr><tr><td>41</td><td>82箇所/日</td><td>134箇所/日</td></tr><tr><td>51</td><td>78箇所/日</td><td>123箇所/日</td></tr></table>	鉄筋径 (mm)	作業日当り標準作業量		グラウト	ねじ加工	13	119箇所/日	246箇所/日	16～25	103箇所/日	186箇所/日	29～32	90箇所/日	156箇所/日	35	87箇所/日	147箇所/日	38	85箇所/日	134箇所/日	41	82箇所/日	134箇所/日	51	78箇所/日	123箇所/日
			鉄筋工		①加工・組立																																																																																									
<table><tr><th rowspan="2">鉄筋径 (mm)</th><th colspan="4">作業日当り標準作業量</th></tr><tr><th>一般構造物/ トンネル内構造物</th><th>橋梁用床版</th><th>場所打ち杭の 鉄筋かご</th><th>差筋および 杭頭処理</th></tr><tr><td>10～13</td><td>0.8t/日</td><td>0.9t/日</td><td>1.0t/日</td><td>0.9t/日</td></tr><tr><td>16～25</td><td>1.2t/日</td><td>1.3t/日</td><td>1.7t/日</td><td>1.2t/日</td></tr><tr><td>29～32</td><td>1.7t/日</td><td>－</td><td>2.2t/日</td><td>1.8t/日</td></tr><tr><td>35</td><td>1.8t/日</td><td>－</td><td>2.8t/日</td><td>1.9t/日</td></tr><tr><td>38</td><td>1.9t/日</td><td>－</td><td>－</td><td>2.1t/日</td></tr><tr><td>41</td><td>2.0t/日</td><td>－</td><td>－</td><td>2.2t/日</td></tr><tr><td>51</td><td>2.4t/日</td><td>－</td><td>－</td><td>2.6t/日</td></tr></table>	鉄筋径 (mm)	作業日当り標準作業量				一般構造物/ トンネル内構造物	橋梁用床版	場所打ち杭の 鉄筋かご	差筋および 杭頭処理	10～13	0.8t/日	0.9t/日	1.0t/日	0.9t/日	16～25	1.2t/日	1.3t/日	1.7t/日	1.2t/日	29～32	1.7t/日	－	2.2t/日	1.8t/日	35	1.8t/日	－	2.8t/日	1.9t/日	38	1.9t/日	－	－	2.1t/日	41	2.0t/日	－	－	2.2t/日	51	2.4t/日	－	－	2.6t/日																																																		
鉄筋径 (mm)		作業日当り標準作業量																																																																																												
	一般構造物/ トンネル内構造物	橋梁用床版			場所打ち杭の 鉄筋かご	差筋および 杭頭処理																																																																																								
10～13	0.8t/日	0.9t/日			1.0t/日	0.9t/日																																																																																								
16～25	1.2t/日	1.3t/日			1.7t/日	1.2t/日																																																																																								
29～32	1.7t/日	－			2.2t/日	1.8t/日																																																																																								
35	1.8t/日	－			2.8t/日	1.9t/日																																																																																								
38	1.9t/日	－			－	2.1t/日																																																																																								
41	2.0t/日	－			－	2.2t/日																																																																																								
51	2.4t/日	－			－	2.6t/日																																																																																								
②ガス圧接継手																																																																																														
<table><tr><th>鉄筋径 (mm)</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr><tr><td>16～25</td><td>132箇所/日</td></tr><tr><td>29～32</td><td>86箇所/日</td></tr><tr><td>35</td><td>75箇所/日</td></tr><tr><td>38</td><td>69箇所/日</td></tr><tr><td>41</td><td>64箇所/日</td></tr><tr><td>51</td><td>51箇所/日</td></tr></table>	鉄筋径 (mm)	作業日当り標準作業量			16～25	132箇所/日	29～32	86箇所/日	35	75箇所/日	38	69箇所/日	41	64箇所/日	51	51箇所/日																																																																														
鉄筋径 (mm)	作業日当り標準作業量																																																																																													
16～25	132箇所/日																																																																																													
29～32	86箇所/日																																																																																													
35	75箇所/日																																																																																													
38	69箇所/日																																																																																													
41	64箇所/日																																																																																													
51	51箇所/日																																																																																													
③機械式継手																																																																																														
<table><tr><th rowspan="2">鉄筋径 (mm)</th><th colspan="2">作業日当り標準作業量</th></tr><tr><th>グラウト</th><th>ねじ加工</th></tr><tr><td>13</td><td>119箇所/日</td><td>246箇所/日</td></tr><tr><td>16～25</td><td>103箇所/日</td><td>186箇所/日</td></tr><tr><td>29～32</td><td>90箇所/日</td><td>156箇所/日</td></tr><tr><td>35</td><td>87箇所/日</td><td>147箇所/日</td></tr><tr><td>38</td><td>85箇所/日</td><td>134箇所/日</td></tr><tr><td>41</td><td>82箇所/日</td><td>134箇所/日</td></tr><tr><td>51</td><td>78箇所/日</td><td>123箇所/日</td></tr></table>	鉄筋径 (mm)	作業日当り標準作業量		グラウト	ねじ加工	13	119箇所/日	246箇所/日	16～25	103箇所/日	186箇所/日	29～32	90箇所/日	156箇所/日	35	87箇所/日	147箇所/日	38	85箇所/日	134箇所/日	41	82箇所/日	134箇所/日	51	78箇所/日	123箇所/日																																																																				
鉄筋径 (mm)		作業日当り標準作業量																																																																																												
	グラウト	ねじ加工																																																																																												
13	119箇所/日	246箇所/日																																																																																												
16～25	103箇所/日	186箇所/日																																																																																												
29～32	90箇所/日	156箇所/日																																																																																												
35	87箇所/日	147箇所/日																																																																																												
38	85箇所/日	134箇所/日																																																																																												
41	82箇所/日	134箇所/日																																																																																												
51	78箇所/日	123箇所/日																																																																																												

令和8年8月 積算基準及び標準歩掛(土木編) 新旧対照表
(一部前倒し改定)

頁	項目	現行(旧)	改定(新)
新規	第Ⅱ編 共通工 第4章 コンクリート工 ④ 鉄筋工	新 規	④ 鉄 筋 工 1. 適 用 範 囲 本資料は、河川・海岸・道路・水路・橋梁・トンネル等の鉄筋構造物のうち、現場における加工・組立及び継手に適用する。 なお、鉄筋は普通鉄筋、異形棒鋼間わず適用できるものとする。また、鉄筋工の継手は重ね継手を標準とし、ガス圧接継手や機械式継手（グラウト）、機械式継手（ねじ加工）の場合は材料費・設置時間を別途計上する。 1－1 適用できる範囲 1－1－1 加工・組立 （1）一般構造物（鉄筋径：10mm～51mm） （2）橋梁用床版（鉄筋径：13mm～25mm） （3）場所打ち杭の鉄筋かご（鉄筋径：13mm～35mm） （4）トンネル内構造物（鉄筋径：10mm～51mm） （5）差筋および杭頭処理（鉄筋径：10mm～51mm） 1－1－2 継手 （1）鉄筋構造物の組立作業における手動式（半自動式）のガス圧接継手 （2）鉄筋径 16mm～51mm までのガス圧接継手 （3）現場で打設する鉄筋コンクリート構造物の組立作業における軸方向鉄筋の機械式継手工 （4）ロックナットが無く、有機系グラウト材を用いるねじ節鉄筋継手（グラウト固定方式） （5）スリーブ圧着ネジ継手、摩擦圧接ネジ継手 （6）鉄筋径 13mm～51mm までの機械式継手 1－2 適用できない範囲 1－2－1 加工・組立 （1）ダム本体工事における鉄筋工 （2）鉄筋工の歩掛が個別に設定されている工種（コンクリートブロック積（張）工、コンクリート舗装工、橋梁地覆補修工、ポストテンション桁製作工、P C 橋架設工、ポストテンション場所打ボロースラブ橋工、ポストテンション場所打箱桁橋工、伸縮装置工、沓座拡幅工） 1－2－2 継手 （1）熱間押抜法によるガス圧接継手 （2）プレキャスト（継手内蔵）、コンクリート打継面（鉄筋継手を一断面に集めて配置）の接合 （3）ロックナット付、無機系グラウト材を用いるねじ節鉄筋継手（グラウト固定方式） （4）モルタル充填継手 2. 施 工 概 要 2－1 施工内容 2－1－1 加工・組立 鉄筋を設計図に示された形状及び寸法に一致するように、鉄筋加工機等を用いて加工し、鉄筋結束線等により組立てる工法である。 2－1－2 ガス圧接継手 2 本の鉄筋を酸素とアセチレンなどの可燃性ガスの火炎によって金属端面を高温に加熱し、同時に軸方向の圧力をかけることで接合を行う工法である。

令和8年8月 積算基準及び標準歩掛(土木編) 新旧対照表
(一部前倒し改定)

頁	項目	現行(旧)	改定(新)																																																																													
新規	第Ⅱ編 共通工 第4章 コンクリート工 ④ 鉄筋工	新 規	2－1－3 機械式接手（グラウト） 2 本の鉄筋を、カプラー（スリーブ）と鉄筋の隙間に高強度のグラウト材を注入・硬化させることで接合を行う工法である。 2－1－4 機械式接手（ねじ加工） 2 本の鉄筋を、グラウトを使わず、ロックナット等をトルクレンチ等で締め付けることで機械的に固定し接合を行う工法である。 2－2 施工フロー 施工フローは、下記を標準とする。 （注）本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。 図2－1 施工フロー図 3. 施 工 歩 掛 3－1 加工 3－1－1 施工歩掛 加工の歩掛は、次表を標準とする。 <table><tr><th colspan="2"></th><th colspan="8">表3－1 加工歩掛 (1t 当り)</th></tr><tr><th rowspan="2">名 称</th><th rowspan="2">単位</th><th rowspan="2">規 格</th><th colspan="7">鉄 筋 表 (mm)</th></tr><tr><th>10～13</th><th>16～25</th><th>29～32</th><th>35</th><th>38</th><th>41</th><th>51</th></tr><tr><td>土木一般世話役</td><td>人</td><td></td><td>0.2</td><td>0.1</td><td>0.1</td><td>0.1</td><td>0.1</td><td>0.1</td><td>0.1</td></tr><tr><td>鉄 筋 工</td><td>人</td><td></td><td>2.3</td><td>1.7</td><td>1.2</td><td>1.1</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.8</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td>人</td><td></td><td>0.2</td><td>0.2</td><td>0.1</td><td>0.1</td><td>0.1</td><td>0.1</td><td>0.1</td></tr><tr><td>ラ フ テ レ ン ク レ ー ン 運 転</td><td>日</td><td>油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型 (2014年規制) 最大吊上能力 25 t 吊</td><td>0.04</td><td>0.04</td><td>0.04</td><td>0.04</td><td>0.04</td><td>0.04</td><td>0.04</td></tr><tr><td>諸 雑 費</td><td>%</td><td></td><td colspan="7">12</td></tr></table> （注）1. 普通鉄筋・異形鉄筋とも同一歩掛とする。 2. 鉄筋強度、長さを問わず、同一歩掛とする。 3. ラフテレンクレーンは賃料とする。 4. フック鉄筋以外の定着工法用の鉄筋加工費、鉄筋のねじ切り加工費は別途計上する。 5. フレア溶接を行う場合は、フレア溶接費を別途計上する。 6. 諸経費は鉄筋曲機・鉄筋切断機・電力にかかる経費等の費用であり、労務費の合計額に上表の諸雑費率を乗じた金額を上限として計上する。 7. 鉄筋加工に伴う現場内小運搬を含む。			表3－1 加工歩掛 (1t 当り)								名 称	単位	規 格	鉄 筋 表 (mm)							10～13	16～25	29～32	35	38	41	51	土木一般世話役	人		0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	鉄 筋 工	人		2.3	1.7	1.2	1.1	1.0	1.0	0.8	普 通 作 業 員	人		0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	ラ フ テ レ ン ク レ ー ン 運 転	日	油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型 (2014年規制) 最大吊上能力 25 t 吊	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	諸 雑 費	%		12						
					表3－1 加工歩掛 (1t 当り)																																																																											
名 称	単位	規 格	鉄 筋 表 (mm)																																																																													
			10～13	16～25	29～32	35	38	41	51																																																																							
土木一般世話役	人		0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1																																																																							
鉄 筋 工	人		2.3	1.7	1.2	1.1	1.0	1.0	0.8																																																																							
普 通 作 業 員	人		0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1																																																																							
ラ フ テ レ ン ク レ ー ン 運 転	日	油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型 (2014年規制) 最大吊上能力 25 t 吊	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04																																																																							
諸 雑 費	%		12																																																																													

令和8年8月 積算基準及び標準歩掛(土木編) 新旧対照表
(一部前倒し改定)

頁	項目	現行(旧)	改定(新)																																																																																																																				
新規	第Ⅱ編 共通工 第4章 コンクリート工 ④ 鉄筋工	新規	3－1－2 鉄筋使用量 鉄筋の使用量は次式による。 鉄筋量（t）＝設計量（t）×（1+K）・・・・・・・・・・式3.1 K：ロス率 <table><tr><th colspan="2">表3.2 ロス率（K）</th></tr><tr><td>ロス率</td><td>+0.03</td></tr></table> 3－2 組立 3 2 1 一般構造物 一般構造物における組立歩掛は、次表を標準とする。 <table><tr><th colspan="7">表3－3 組立歩掛（一般構造物）</th><th>（1t 当り）</th></tr><tr><th rowspan="2">名 称</th><th rowspan="2">単位</th><th rowspan="2">規 格</th><th colspan="7">鉄 筋 表 （mm）</th></tr><tr><th>10～13</th><th>16～25</th><th>29～32</th><th>35</th><th>38</th><th>41</th><th>51</th></tr><tr><td>土木一般世話役</td><td>人</td><td></td><td>0.5</td><td>0.4</td><td>0.3</td><td>0.2</td><td>0.2</td><td>0.2</td><td>0.1</td></tr><tr><td>鉄 筋 工</td><td>〃</td><td></td><td>3.5</td><td>2.9</td><td>2.1</td><td>1.7</td><td>1.4</td><td>1.2</td><td>1.1</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td>〃</td><td></td><td>0.3</td><td>0.2</td><td>0.2</td><td>0.1</td><td>0.1</td><td>0.1</td><td>0.1</td></tr><tr><td>ラ フ テ レ ン ク レ ー ン 運 転</td><td>日</td><td>油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型 (2014 年規制) 最大吊上能力 25 t 吊</td><td>0.11</td><td>0.11</td><td>0.11</td><td>0.11</td><td>0.11</td><td>0.11</td><td>0.11</td></tr><tr><td>諸 雑 費</td><td>%</td><td></td><td colspan="4">8</td><td colspan="3">11</td></tr></table> (注) 1. 普通鉄筋・異形鉄筋とも同一歩掛とする。 2. 鉄筋強度、長さを問わず、同一歩掛とする。 3. ラフテレーンクレーンは賃料とする。 4. 組立架台や組立鋼材（形鋼）を必要とする場合には、別途計上する。 5. 組立に伴う現場内小運搬を含む。 6. 諸雑費は鉄筋結束機及び結束線、ハッカー、スベータ等の費用であり、労務費の合計額に上表の諸雑費率を乗じた金額を上限として計上する。 7. 組立の歩掛には、鉄筋材料の費用が含まれていないため必要に応じて別途計上する。 3－2－2 橋梁用床板 橋梁用床版における立の歩掛は、次表を標準とする。 <table><tr><th colspan="4">表3－4 組立歩掛（橋梁用床板）</th><th>（1t 当り）</th></tr><tr><th rowspan="2">名 称</th><th rowspan="2">単位</th><th rowspan="2">規 格</th><th colspan="2">鉄 筋 表 （mm）</th></tr><tr><th>13</th><th>16～25</th></tr><tr><td>土木一般世話役</td><td>人</td><td></td><td>0.4</td><td>0.4</td></tr><tr><td>鉄 筋 工</td><td>〃</td><td></td><td>3.2</td><td>2.6</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td>〃</td><td></td><td>0.2</td><td>0.2</td></tr><tr><td>ラ フ テ レ ン ク レ ー ン 運 転</td><td>日</td><td>油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型 (2014 年規制) 最大吊上能力 25 t 吊</td><td>0.07</td><td>0.07</td></tr><tr><td>諸 雑 費</td><td>%</td><td></td><td colspan="2">14</td></tr></table>	表3.2 ロス率（K）		ロス率	+0.03	表3－3 組立歩掛（一般構造物）							（1t 当り）	名 称	単位	規 格	鉄 筋 表 （mm）							10～13	16～25	29～32	35	38	41	51	土木一般世話役	人		0.5	0.4	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1	鉄 筋 工	〃		3.5	2.9	2.1	1.7	1.4	1.2	1.1	普 通 作 業 員	〃		0.3	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	ラ フ テ レ ン ク レ ー ン 運 転	日	油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型 (2014 年規制) 最大吊上能力 25 t 吊	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	諸 雑 費	%		8				11			表3－4 組立歩掛（橋梁用床板）				（1t 当り）	名 称	単位	規 格	鉄 筋 表 （mm）		13	16～25	土木一般世話役	人		0.4	0.4	鉄 筋 工	〃		3.2	2.6	普 通 作 業 員	〃		0.2	0.2	ラ フ テ レ ン ク レ ー ン 運 転	日	油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型 (2014 年規制) 最大吊上能力 25 t 吊	0.07	0.07	諸 雑 費	%		14	
			表3.2 ロス率（K）																																																																																																																				
ロス率	+0.03																																																																																																																						
表3－3 組立歩掛（一般構造物）							（1t 当り）																																																																																																																
名 称	単位	規 格	鉄 筋 表 （mm）																																																																																																																				
			10～13	16～25	29～32	35	38	41	51																																																																																																														
土木一般世話役	人		0.5	0.4	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1																																																																																																														
鉄 筋 工	〃		3.5	2.9	2.1	1.7	1.4	1.2	1.1																																																																																																														
普 通 作 業 員	〃		0.3	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1																																																																																																														
ラ フ テ レ ン ク レ ー ン 運 転	日	油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型 (2014 年規制) 最大吊上能力 25 t 吊	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11																																																																																																														
諸 雑 費	%		8				11																																																																																																																
表3－4 組立歩掛（橋梁用床板）				（1t 当り）																																																																																																																			
名 称	単位	規 格	鉄 筋 表 （mm）																																																																																																																				
			13	16～25																																																																																																																			
土木一般世話役	人		0.4	0.4																																																																																																																			
鉄 筋 工	〃		3.2	2.6																																																																																																																			
普 通 作 業 員	〃		0.2	0.2																																																																																																																			
ラ フ テ レ ン ク レ ー ン 運 転	日	油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型 (2014 年規制) 最大吊上能力 25 t 吊	0.07	0.07																																																																																																																			
諸 雑 費	%		14																																																																																																																				

令和8年8月 積算基準及び標準歩掛(土木編) 新旧対照表
(一部前倒し改定)

頁	項目	現行(旧)	改定(新)																																																																																																					
新規	第Ⅱ編 共通工 第4章 コンクリート工 ④ 鉄筋工	新 規	(注) 1. 普通鉄筋・異形鉄筋とも同一歩掛とする。 2. 鉄筋強度、長さに関わらず同一歩掛とする。 3. ラフデレーンクレーンは賃料とする。 4. 組立架台や組立鋼材(形鋼)を必要とする場合には、別途計上する。 5. 組立に伴う現場内小運搬を含む。 6. 諸雑費は鉄筋結束機及び結束線、ハッカー、スペーサ等の費用であり、労務費の合計額に上表の諸雑費率を乗じた金額を上限として計上する。 7. 組立の歩掛には、鉄筋材料の費用が含まれていないため必要に応じて別途計上する。 3－2－3 場所打鉄筋かご 場所打鉄筋かごにおける組立の歩掛は、次表を標準とする。 <table><caption>表 3－5 組立歩掛（場所打鉄筋かご） (1t 当り)</caption><tr><th rowspan="2">名 称</th><th rowspan="2">単位</th><th colspan="4">鉄 筋 表 (mm)</th></tr><tr><th>13</th><th>16～25</th><th>29～32</th><th>35</th></tr><tr><td>土木一般世話役</td><td>人</td><td>0.4</td><td>0.3</td><td>0.2</td><td>0.2</td></tr><tr><td>鉄 筋 工</td><td>〃</td><td>2.8</td><td>2.1</td><td>1.6</td><td>1.1</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td>〃</td><td>0.2</td><td>0.2</td><td>0.1</td><td>0.1</td></tr><tr><td>諸 雑 費</td><td>%</td><td colspan="4">6</td></tr></table> (注) 1. 普通鉄筋・異形鉄筋とも同一歩掛とする。 2. 鉄筋強度、長さに関わらず同一歩掛とする。 3. 組立架台を必要とする場合には、別途計上する。 4. 組立に伴う現場内小運搬を含む。 5. 場所打杭用かご筋をあらかじめ掘削坑内以外において組立てる場合に適用し、掘削坑内ではかご状に組立てる場合については「一般構造物」を適用する。 6. 固定金具や補強材（補強リング）の設置手間は含むが、材料費は含まない。 7. 場所打杭用かご筋は、固定金具、補強材およびスペーサの重量は含めない。ただし、補強材およびスペーサに異形棒鋼または丸鋼を使用する場合は、補強材およびスペーサの重量を加算する。 8. 諸雑費は鉄筋結束機及び結束線、ハッカー等の費用であり、労務費の合計額に上表の諸雑費率を乗じた金額を上限として計上する。 9. 組立の歩掛には、鉄筋材料の費用が含まれていないため必要に応じて別途計上する。 3－2－4 トンネル内構造物 トンネル内構造物における組立の歩掛は、次表を標準とする。 <table><caption>表 3－6 組立歩掛（トンネル内構造物） (1 t 当り)</caption><tr><th rowspan="2">名 称</th><th rowspan="2">単位</th><th rowspan="2">規 格</th><th colspan="7">鉄 筋 表 (mm)</th></tr><tr><th>10～13</th><th>16～25</th><th>29～32</th><th>35</th><th>38</th><th>41</th><th>51</th></tr><tr><td>トンネル世話役</td><td>人</td><td></td><td>0.5</td><td>0.4</td><td>0.3</td><td>0.2</td><td>0.2</td><td>0.2</td><td>0.1</td></tr><tr><td>トンネル特殊工</td><td>〃</td><td></td><td>3.5</td><td>2.9</td><td>2.1</td><td>1.7</td><td>1.4</td><td>1.2</td><td>1.1</td></tr><tr><td>トンネル作業員</td><td>〃</td><td></td><td>0.3</td><td>0.2</td><td>0.2</td><td>0.1</td><td>0.1</td><td>0.1</td><td>0.1</td></tr><tr><td>ラ フ デ レ ー ン ク レ ー ン 運 転</td><td>日</td><td>油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型 (2014 年規制) 最大吊上能力 25 t 吊</td><td>0.11</td><td>0.11</td><td>0.11</td><td>0.11</td><td>0.11</td><td>0.11</td><td>0.11</td></tr><tr><td>諸 雑 費</td><td>%</td><td></td><td colspan="4">8</td><td colspan="3">11</td></tr></table>	名 称	単位	鉄 筋 表 (mm)				13	16～25	29～32	35	土木一般世話役	人	0.4	0.3	0.2	0.2	鉄 筋 工	〃	2.8	2.1	1.6	1.1	普 通 作 業 員	〃	0.2	0.2	0.1	0.1	諸 雑 費	%	6				名 称	単位	規 格	鉄 筋 表 (mm)							10～13	16～25	29～32	35	38	41	51	トンネル世話役	人		0.5	0.4	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1	トンネル特殊工	〃		3.5	2.9	2.1	1.7	1.4	1.2	1.1	トンネル作業員	〃		0.3	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	ラ フ デ レ ー ン ク レ ー ン 運 転	日	油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型 (2014 年規制) 最大吊上能力 25 t 吊	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	諸 雑 費	%		8				11		
名 称	単位	鉄 筋 表 (mm)																																																																																																						
		13	16～25	29～32	35																																																																																																			
土木一般世話役	人	0.4	0.3	0.2	0.2																																																																																																			
鉄 筋 工	〃	2.8	2.1	1.6	1.1																																																																																																			
普 通 作 業 員	〃	0.2	0.2	0.1	0.1																																																																																																			
諸 雑 費	%	6																																																																																																						
名 称	単位	規 格	鉄 筋 表 (mm)																																																																																																					
			10～13	16～25	29～32	35	38	41	51																																																																																															
トンネル世話役	人		0.5	0.4	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1																																																																																															
トンネル特殊工	〃		3.5	2.9	2.1	1.7	1.4	1.2	1.1																																																																																															
トンネル作業員	〃		0.3	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1																																																																																															
ラ フ デ レ ー ン ク レ ー ン 運 転	日	油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型 (2014 年規制) 最大吊上能力 25 t 吊	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11																																																																																															
諸 雑 費	%		8				11																																																																																																	

令和8年8月 積算基準及び標準歩掛(土木編) 新旧対照表
(一部前倒し改定)

頁	項目	現行(旧)	改定(新)																																																																																																																									
新規	第Ⅱ編 共通工																																																																																																																											
	第4章 コンクリート工																																																																																																																											
	④ 鉄筋工	新 規	(注) 1. 普通鉄筋・異形鉄筋とも同一歩掛とする。 2. 鉄筋強度、長さに関わらず同一歩掛とする。 3. ラフテレーンクレーンは賃料とする。 4. 組立架台や組立鋼材（形鋼）を必要とする場合には、別途計上する。 5. 組立に伴う現場内小運搬を含む。 6. 諸雑費は鉄筋結束機及び結束線、ハッカー、スペーサ等の費用であり、労務費の合計額に上表の諸雑費率を乗じた金額を上限として計上する。 7. 組立の歩掛には、鉄筋材料の費用が含まれていないため必要に応じて別途計上する。 3－2－5 差筋および杭頭処理 差筋および杭頭処理の組立歩掛は、次表を標準とする。 <table><caption>表3－7 組立歩掛（差筋および杭頭処理） (1 t 当り)</caption><tr><th rowspan="2">名 称</th><th rowspan="2">単位</th><th colspan="6">鉄 筋 表 (mm)</th></tr><tr><th>10～13</th><th>16～25</th><th>29～32</th><th>35</th><th>38</th><th>41</th><th>51</th></tr><tr><td>土木一般世話役</td><td>人</td><td>0.5</td><td>0.4</td><td>0.3</td><td>0.2</td><td>0.2</td><td>0.2</td><td>0.1</td></tr><tr><td>鉄 筋 工</td><td>〃</td><td>3.3</td><td>2.8</td><td>2.0</td><td>1.6</td><td>1.3</td><td>1.1</td><td>1.0</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td>〃</td><td>0.3</td><td>0.2</td><td>0.2</td><td>0.1</td><td>0.1</td><td>0.1</td><td>0.1</td></tr><tr><td>諸 雑 費</td><td>%</td><td colspan="7">2</td></tr></table> (注) 1. 普通鉄筋・異形鉄筋とも同一歩掛とする。 2. 鉄筋強度、長さに関わらず同一歩掛とする。 3. 組立に伴う現場内小運搬を含む。 4. 諸雑費は電気溶接機、電力にかかる経費等の費用であり、労務費の合計額に上表の諸雑費率を乗じた金額を上限として計上する。 5. 組立の歩掛には、鉄筋材料の費用が含まれていないため必要に応じて別途計上する。 3－3 継手 3－3－1 ガス圧接継手 構造物等によりガス圧接継手を必要とする場合には、次表を標準とする。 <table><caption>表3－8 ガス圧接継手歩掛 (1 t 当り)</caption><tr><th rowspan="2">名 称</th><th rowspan="2">単位</th><th colspan="6">鉄 筋 表 (mm)</th></tr><tr><th>16～25</th><th>29～32</th><th>35</th><th>38</th><th>41</th><th>51</th></tr><tr><td>土木一般世話役</td><td>人</td><td>0.2</td><td>0.5</td><td>0.6</td><td>0.8</td><td>0.9</td><td>1.5</td></tr><tr><td>鉄 筋 工</td><td>〃</td><td>0.5</td><td>1.3</td><td>1.7</td><td>2.1</td><td>2.5</td><td>4.2</td></tr><tr><td>溶 接 工</td><td>〃</td><td>1.2</td><td>2.9</td><td>4.3</td><td>5.0</td><td>6.1</td><td>10.2</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td>〃</td><td>0.4</td><td>1.0</td><td>1.3</td><td>1.6</td><td>1.9</td><td>3.2</td></tr><tr><td>アセチレンガス</td><td>kg</td><td>5.0</td><td>6.5</td><td>21.0</td><td>35.0</td><td>38.5</td><td>105.0</td></tr><tr><td>酸 素</td><td>m3</td><td>5.0</td><td>6.5</td><td>14.0</td><td>23.0</td><td>27.4</td><td>70.0</td></tr><tr><td>諸 雑 費</td><td>%</td><td colspan="6">8</td></tr></table> (注) 1. 普通鉄筋・異形鉄筋とも同一歩掛とする。 2. 鉄筋強度、長さに関わらず同一歩掛とする。 3. 径違いの接合の場合は上位規格の径を適用する。 4. 圧接前の配筋および圧接後の鉄筋の切断費用、試験費用は含まない。 5. 諸雑費はガス圧接装置・電力にかかる経費等の費用であり、労務費の合計額に上表の諸雑費率を乗じた金額を上限として計上する。	名 称	単位	鉄 筋 表 (mm)						10～13	16～25	29～32	35	38	41	51	土木一般世話役	人	0.5	0.4	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1	鉄 筋 工	〃	3.3	2.8	2.0	1.6	1.3	1.1	1.0	普 通 作 業 員	〃	0.3	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	諸 雑 費	%	2							名 称	単位	鉄 筋 表 (mm)						16～25	29～32	35	38	41	51	土木一般世話役	人	0.2	0.5	0.6	0.8	0.9	1.5	鉄 筋 工	〃	0.5	1.3	1.7	2.1	2.5	4.2	溶 接 工	〃	1.2	2.9	4.3	5.0	6.1	10.2	普 通 作 業 員	〃	0.4	1.0	1.3	1.6	1.9	3.2	アセチレンガス	kg	5.0	6.5	21.0	35.0	38.5	105.0	酸 素	m3	5.0	6.5	14.0	23.0	27.4	70.0	諸 雑 費	%	8					
名 称	単位	鉄 筋 表 (mm)																																																																																																																										
		10～13	16～25	29～32	35	38	41	51																																																																																																																				
土木一般世話役	人	0.5	0.4	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1																																																																																																																				
鉄 筋 工	〃	3.3	2.8	2.0	1.6	1.3	1.1	1.0																																																																																																																				
普 通 作 業 員	〃	0.3	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1																																																																																																																				
諸 雑 費	%	2																																																																																																																										
名 称	単位	鉄 筋 表 (mm)																																																																																																																										
		16～25	29～32	35	38	41	51																																																																																																																					
土木一般世話役	人	0.2	0.5	0.6	0.8	0.9	1.5																																																																																																																					
鉄 筋 工	〃	0.5	1.3	1.7	2.1	2.5	4.2																																																																																																																					
溶 接 工	〃	1.2	2.9	4.3	5.0	6.1	10.2																																																																																																																					
普 通 作 業 員	〃	0.4	1.0	1.3	1.6	1.9	3.2																																																																																																																					
アセチレンガス	kg	5.0	6.5	21.0	35.0	38.5	105.0																																																																																																																					
酸 素	m3	5.0	6.5	14.0	23.0	27.4	70.0																																																																																																																					
諸 雑 費	%	8																																																																																																																										

令和8年8月 積算基準及び標準歩掛(土木編) 新旧対照表
(一部前倒し改定)

頁	項目	現行(旧)	改定(新)																																																																																																										
新規	第Ⅱ編 共通工 第4章 コンクリート工 ④ 鉄筋工	新 規	3－3－2 機械式継手（グラウト） （１）施工歩掛 構造物等により機械式継手（グラウト）を必要とする場合には、次表を標準とする。 表 3－9 機械式継手（グラウト）歩掛 (100 個所当り) <table><tr><th rowspan="2">名 称</th><th rowspan="2">単位</th><th colspan="7">鉄 筋 表 (mm)</th></tr><tr><th>13</th><th>16～25</th><th>29～32</th><th>35</th><th>38</th><th>41</th><th>51</th></tr><tr><td>土木一般世話役</td><td>人</td><td>0.2</td><td>0.3</td><td>0.3</td><td>0.3</td><td>0.3</td><td>0.3</td><td>0.3</td></tr><tr><td>鉄 筋 工</td><td>〃</td><td>3.4</td><td>4.0</td><td>4.5</td><td>4.7</td><td>4.8</td><td>5.0</td><td>5.3</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td>〃</td><td>0.1</td><td>0.1</td><td>0.2</td><td>0.2</td><td>0.2</td><td>0.2</td><td>0.2</td></tr><tr><td>諸 雑 費</td><td>%</td><td colspan="7">1</td></tr></table> （注） 1．普通鉄筋・異形鉄筋とも同一歩掛とする。 2．鉄筋強度、長さに関わらず同一歩掛とする。 3．径違いの接合の場合は上位規格の径を適用する。 4．グラウト材については、必要量を計上する。 5．諸雑費は手動式注入器等の費用であり、労務費の合計額に上表の諸雑費率を乗じた金額を上限として計上する。 （２）グラウト材使用量 グラウト材の使用量は次式による。 使用量（個）＝設計量（個）×（1+K）・・・・・・・・・・式 3.2 K：ロス率 表 3. 1 0 ロス率（K） <table><tr><td>ロ ス 率</td><td>+0.03</td></tr></table> 3－3－3 機械式継手（ねじ加工） 構造物等により機械式継手（ねじ加工）を必要とする場合には、次表を標準とする。 表 3－1 1 機械式継手（ねじ加工）歩掛 (100 個所当り) <table><tr><th rowspan="2">名 称</th><th rowspan="2">単位</th><th colspan="7">鉄 筋 表 (mm)</th></tr><tr><th>13</th><th>16～25</th><th>29～32</th><th>35</th><th>38</th><th>41</th><th>51</th></tr><tr><td>土木一般世話役</td><td>人</td><td>0.8</td><td>1.0</td><td>1.2</td><td>1.3</td><td>1.3</td><td>1.4</td><td>1.5</td></tr><tr><td>鉄 筋 工</td><td>〃</td><td>1.3</td><td>1.7</td><td>2.1</td><td>2.2</td><td>2.4</td><td>2.5</td><td>2.7</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td>〃</td><td>0.3</td><td>0.4</td><td>0.5</td><td>0.5</td><td>0.5</td><td>0.5</td><td>0.6</td></tr><tr><td>諸 雑 費</td><td>%</td><td colspan="7">1</td></tr></table> （注） 1．普通鉄筋・異形鉄筋とも同一歩掛とする。 2．鉄筋強度、長さに関わらず同一歩掛とする。 3．径違いの接合の場合は上位規格の径を適用する。 4．鉄筋本体の材料費は異形棒鋼を計上する。 5．諸雑費はトルクレンチ等の費用であり、労務費の合計額に上表の諸雑費率を乗じた金額を上限として計上する。	名 称	単位	鉄 筋 表 (mm)							13	16～25	29～32	35	38	41	51	土木一般世話役	人	0.2	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	鉄 筋 工	〃	3.4	4.0	4.5	4.7	4.8	5.0	5.3	普 通 作 業 員	〃	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	諸 雑 費	%	1							ロ ス 率	+0.03	名 称	単位	鉄 筋 表 (mm)							13	16～25	29～32	35	38	41	51	土木一般世話役	人	0.8	1.0	1.2	1.3	1.3	1.4	1.5	鉄 筋 工	〃	1.3	1.7	2.1	2.2	2.4	2.5	2.7	普 通 作 業 員	〃	0.3	0.4	0.5	0.5	0.5	0.5	0.6	諸 雑 費	%	1						
			名 称			単位	鉄 筋 表 (mm)																																																																																																						
13	16～25	29～32		35	38		41	51																																																																																																					
土木一般世話役	人	0.2	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3																																																																																																					
鉄 筋 工	〃	3.4	4.0	4.5	4.7	4.8	5.0	5.3																																																																																																					
普 通 作 業 員	〃	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2																																																																																																					
諸 雑 費	%	1																																																																																																											
ロ ス 率	+0.03																																																																																																												
名 称	単位	鉄 筋 表 (mm)																																																																																																											
		13	16～25	29～32	35	38	41	51																																																																																																					
土木一般世話役	人	0.8	1.0	1.2	1.3	1.3	1.4	1.5																																																																																																					
鉄 筋 工	〃	1.3	1.7	2.1	2.2	2.4	2.5	2.7																																																																																																					
普 通 作 業 員	〃	0.3	0.4	0.5	0.5	0.5	0.5	0.6																																																																																																					
諸 雑 費	%	1																																																																																																											

令和8年8月 積算基準及び標準歩掛(土木編) 新旧対照表
(一部前倒し改定)

頁	項目	現行(旧)	改定(新)
新規	第Ⅱ編 共通工 第4章 コンクリート工 ④ 鉄筋工	新 規	4. 単 価 表 (1) 鉄筋加工 1t 当り単価表

令和8年8月 積算基準及び標準歩掛(土木編) 新旧対照表
(一部前倒し改定)

頁	項目	現行(旧)	改定(新)																																										
新規	第Ⅱ編 共通工 第4章 コンクリート工 ④ 鉄筋工	新 規	(5) 鉄筋組立（トンネル内構造物）1t 当り単価表																																										
			施工歩掛コードWB240750																																										
			<table><tr><th>名 称</th><th>規 格</th><th>単位</th><th>数量</th><th>摘 要</th></tr><tr><td>トンネル世話役</td><td></td><td>人</td><td></td><td>表 3.6</td></tr><tr><td>トンネル特殊工</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>〃</td></tr><tr><td>トンネル作業員</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>〃</td></tr><tr><td>ラフテレーンクレーン賃料</td><td>油圧伸縮ジブ型 搬出対策型（2014 年規制） 最大吊上能力 25 t</td><td>日</td><td></td><td>〃 機械賃料</td></tr><tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td>表 3.6</td></tr><tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	名 称	規 格	単位	数量	摘 要	トンネル世話役		人		表 3.6	トンネル特殊工		〃		〃	トンネル作業員		〃		〃	ラフテレーンクレーン賃料	油圧伸縮ジブ型 搬出対策型（2014 年規制） 最大吊上能力 25 t	日		〃 機械賃料	諸 雑 費		式	1	表 3.6	計											
			名 称	規 格	単位	数量	摘 要																																						
トンネル世話役		人		表 3.6																																									
トンネル特殊工		〃		〃																																									
トンネル作業員		〃		〃																																									
ラフテレーンクレーン賃料	油圧伸縮ジブ型 搬出対策型（2014 年規制） 最大吊上能力 25 t	日		〃 機械賃料																																									
諸 雑 費		式	1	表 3.6																																									
計																																													
(6) 鉄筋組立（差筋および杭頭処理）1t 当り単価表																																													
施工歩掛コードWB240750																																													
<table><tr><th>名 称</th><th>規 格</th><th>単位</th><th>数量</th><th>摘 要</th></tr><tr><td>土木一般世話役</td><td></td><td>人</td><td></td><td>表 3.7</td></tr><tr><td>鉄 筋 工</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>〃</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>〃</td></tr><tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td>〃</td></tr><tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	名 称	規 格	単位	数量	摘 要	土木一般世話役		人		表 3.7	鉄 筋 工		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	諸 雑 費		式	1	〃	計																			
名 称	規 格	単位	数量	摘 要																																									
土木一般世話役		人		表 3.7																																									
鉄 筋 工		〃		〃																																									
普 通 作 業 員		〃		〃																																									
諸 雑 費		式	1	〃																																									
計																																													
(7) ガス圧接継手 100 箇所当り単価表																																													
施工歩掛コードWB240760																																													
<table><tr><th>名 称</th><th>規 格</th><th>単位</th><th>数量</th><th>摘 要</th></tr><tr><td>土木一般世話役</td><td></td><td>人</td><td></td><td>表 3.8</td></tr><tr><td>鉄 筋 工</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>〃</td></tr><tr><td>溶 接 工</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>〃</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>〃</td></tr><tr><td>アセチレンガス</td><td></td><td>Kg</td><td></td><td>〃</td></tr><tr><td>酸 素</td><td></td><td>m3</td><td></td><td>〃</td></tr><tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td>〃</td></tr><tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	名 称	規 格	単位	数量	摘 要	土木一般世話役		人		表 3.8	鉄 筋 工		〃		〃	溶 接 工		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	アセチレンガス		Kg		〃	酸 素		m3		〃	諸 雑 費		式	1	〃	計				
名 称	規 格	単位	数量	摘 要																																									
土木一般世話役		人		表 3.8																																									
鉄 筋 工		〃		〃																																									
溶 接 工		〃		〃																																									
普 通 作 業 員		〃		〃																																									
アセチレンガス		Kg		〃																																									
酸 素		m3		〃																																									
諸 雑 費		式	1	〃																																									
計																																													
(8) 機械式継手（グラウト）100 箇所当り単価表																																													
施工歩掛コードWB240760																																													
<table><tr><th>名 称</th><th>規 格</th><th>単位</th><th>数量</th><th>摘 要</th></tr><tr><td>土木一般世話役</td><td></td><td>人</td><td></td><td>表 3.9</td></tr><tr><td>鉄 筋 工</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>〃</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>〃</td></tr><tr><td>継 手</td><td></td><td>セット</td><td>100</td><td></td></tr><tr><td>グ ラ ウ ト 材</td><td></td><td>個</td><td></td><td>式 3.2</td></tr><tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td>表 3.9</td></tr><tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	名 称	規 格	単位	数量	摘 要	土木一般世話役		人		表 3.9	鉄 筋 工		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	継 手		セット	100		グ ラ ウ ト 材		個		式 3.2	諸 雑 費		式	1	表 3.9	計									
名 称	規 格	単位	数量	摘 要																																									
土木一般世話役		人		表 3.9																																									
鉄 筋 工		〃		〃																																									
普 通 作 業 員		〃		〃																																									
継 手		セット	100																																										
グ ラ ウ ト 材		個		式 3.2																																									
諸 雑 費		式	1	表 3.9																																									
計																																													

令和8年8月 積算基準及び標準歩掛(土木編) 新旧対照表
(一部前倒し改定)

頁	項目	現行(旧)	改定(新)																																			
新規	第Ⅱ編 共通工 第4章 コンクリート工 ④ 鉄筋工	新 規	(9) 機械式継手（ねじ加工）100 箇所当り単価表																																			
			施工歩掛コードWB240760																																			
			<table><tr><th>名 称</th><th>規 格</th><th>単位</th><th>数量</th><th>摘 要</th></tr><tr><td>土 木 一 般 世 話 役</td><td></td><td>人</td><td></td><td>表 3.11</td></tr><tr><td>鉄 筋 工</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>〃</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>〃</td></tr><tr><td>継 手</td><td></td><td>セット</td><td>100</td><td></td></tr><tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td>表 3.11</td></tr><tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	名 称	規 格	単位	数量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役		人		表 3.11	鉄 筋 工		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	継 手		セット	100		諸 雑 費		式	1	表 3.11	計				
			名 称	規 格	単位	数量	摘 要																															
			土 木 一 般 世 話 役		人		表 3.11																															
			鉄 筋 工		〃		〃																															
			普 通 作 業 員		〃		〃																															
			継 手		セット	100																																
			諸 雑 費		式	1	表 3.11																															
			計																																			